

予報期間 10月20日から10月26日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 台風第24号については最新の台風予報を参照。
- 22日から23日にかけて、大陸の高気圧が日本海に張り出し、前線が日本の南から沖縄付近にのびて停滞する。
- 24日から25日にかけて、高気圧が日本海から日本の東へ移動する。前線は日本の南で南下するが引き続き沖縄付近に停滞する。
- 26日は、低気圧がサハリン付近に進み前線が東日本の日本海側にのびる。日本の南の前線が北上して前線上に低気圧が発生する。

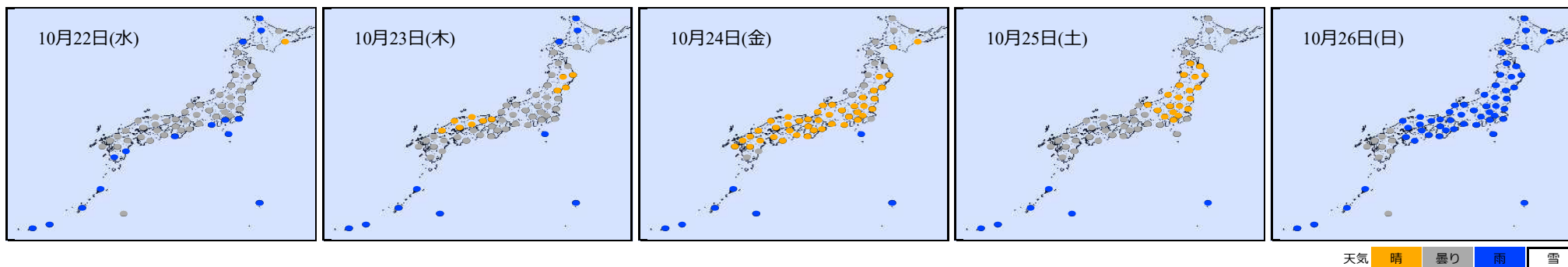
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 24日頃にかけて、東シナ海から日本の南にかけて前線が停滞するため、伊豆諸島と沖縄・奄美を中心に大雨となり、前線の活動の程度等によっては警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

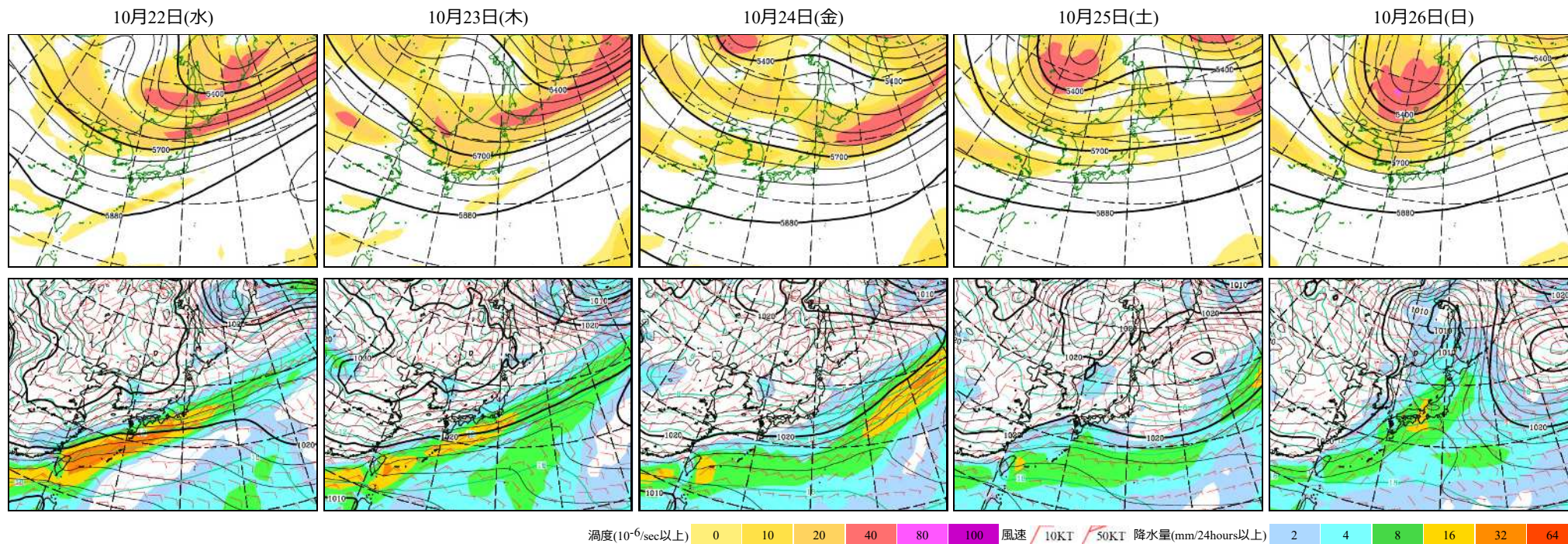
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

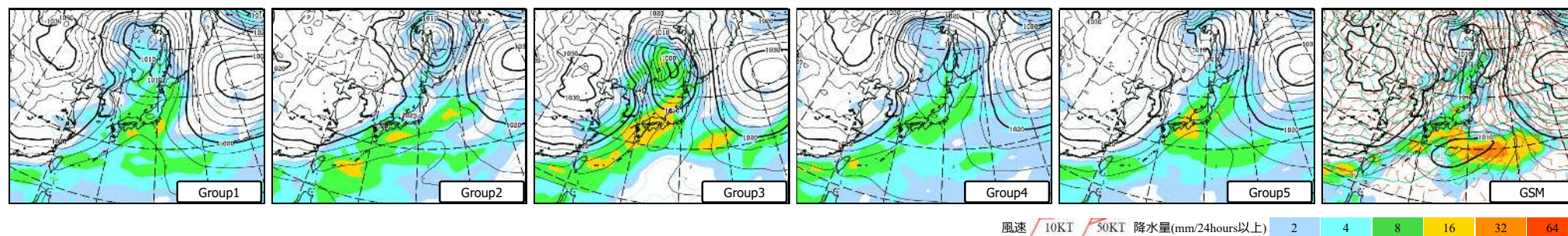


- 北日本は、曇りや晴れる日が多いが、22日から23日と26日は雨または雪の降る所がある。
- 東日本は、22日から23日と26日は曇りや雨の降る所が多いが、24日から25日は晴れる所が多い。
- 西日本は、曇りや晴れる日が多いが、22日と26日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆10月26日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、500hPa高度は昨日資料からの変化が小さい。
- 500hPa高度は各モデルとも概ね一致しているが、期間の終わりに日本付近を東進する低気圧はモデル間の差が大きい。
- スプレッドは比較的小さく、期間の終わりに5400mの特定高度線のバラつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。